

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度あま市防災会議
開 催 日 時	平成26年3月20日(木) 午後3時30分から午後4時45分まで
開 催 場 所	あま市役所本庁舎3階 特別会議室
議 題	あま市地域防災計画の修正(案)について
会 議 資 料	あまあま市防災会議次第 あま市地域防災計画(案) あま市地域防災計画新旧対照表
公開・非公開の別 (非公開の場合は その理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	0人
出 席 委 員	村上浩司、大村敦彦、山田登志男、小出春夫、松永裕和、石田隆義、林有二、福田学、横井敏夫、藤井定彦、櫻井信夫、新聞賢治、青木精三、酒井公孝、浅野守彦、富田悦充、杉本正明
欠 席 委 員	増井恒夫、渡邊剛
事 務 局	(安全安心課) 横井課長、中山主幹、後藤課長補佐、石川主任

## 会議録（要旨）

- 1 会長あいさつ
- 2 委員委嘱について
- 3 あま市地域防災計画の修正（案）について

### ●事務局

あま市地域防災計画（案）及び参考資料により説明

### 【質疑応答】

#### ○委員

教育や防災啓発等と膨大な量であるが、具体的に計画を進めているのか。

### ●事務局

市の総合防災訓練や地域の自主防災訓練等や、市の啓発を実施している。

#### ○委員

市が政策を実施していることは理解しているが、計画を見る限りでは取り組む範囲が膨大であるため、各団体の計画を市が作成し、進めていってはどうか。

### ●事務局

この計画はご指摘のありましたように、膨大な量ではありますが、あくまで総合的な計画であるということをご理解いただきたい。災害時において、市の活動には限界があります。計画や行動については、一人一人が生き残るための活動を行い、そして企業や地域団体等と一緒に活動していただきたい。

#### ○委員

あま市では、小中学生への防災教育に力を入れようと考えており、今年度は伊福小学校、正則小学校をモデル校として考え、来年度以降は他校でも実施していきたいと考えている。その際には、防災ボランティアや防災部局と協力して実施している。

#### ○委員

具体的に優先順位をつける必要があり、こうしている間にも地震災害は発生する危険性があるため、市が各団体と打合せを実施していかななくてはならない。

### ●事務局

各団体とは、協定を締結しており、LPガス協会等は年に1回程度情報交換を実施している。医師会についても、協定締結後、なかなか具体的な話し合いが実施できていないので、取り組んでいきたい。

#### ○委員

医師会との打合せについては、津島保健所が中心となり、海部地域で災害時

の救急医療体制に関する会議を実施している。また、消防署でも各地域の訓練指導をかなり実施している。

○委員

自主防災活動が重要であることは理解しているが、町内会に加入していない世帯もあり、区長も困っている。町内会への加入問題を解決する方策も考えてもらえないだろうか。

○委員

自主防災対策については、各地域でかなり温度差があり、取り組み方も違う。あま市には、家具転倒防止に関する何らかの施策を実施していただきたい。

●事務局

4月27日に実施する自主防災会情報交換会を始め、各地の防災訓練等を通じて啓発を実施する。

○委員

市政報告会等の場で市民に対し、一番小さな単位である家族で防災について考えてもらえるよう話している。市としても様々な政策に取り組む必要がある。

○委員

民生委員では、4月以降災害時要援護者の方々の把握のため、精力的に高齢社宅等へ戸別訪問を実施する。

【計画の修正について】

委員全員の賛成により原案のとおり決定